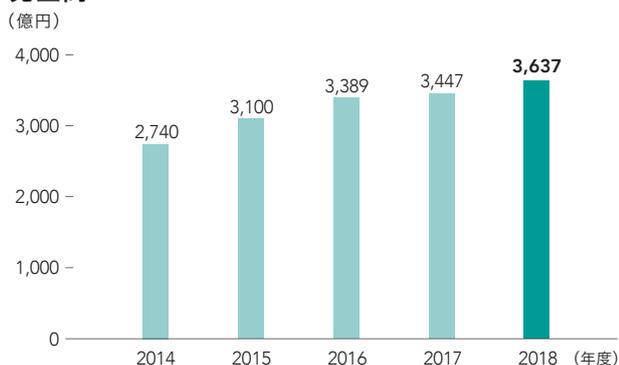


2018年度の成果

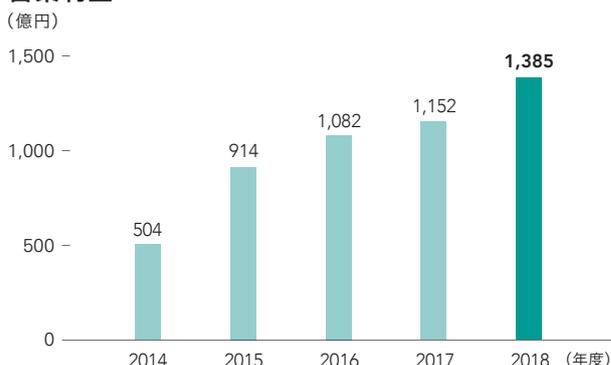
継続的な増収増益

- 売上高は、4期連続増収の3,637億円
- ⇒ 2018年度は、ロイヤリティーおよびマイルストーン収入等の伸長が国内医療用医薬品の減少分を上回り、売上高は4期連続の増収を達成
- 営業利益(4期連続)、経常利益(7期連続)および親会社株主に帰属する当期純利益(3期連続)は過去最高

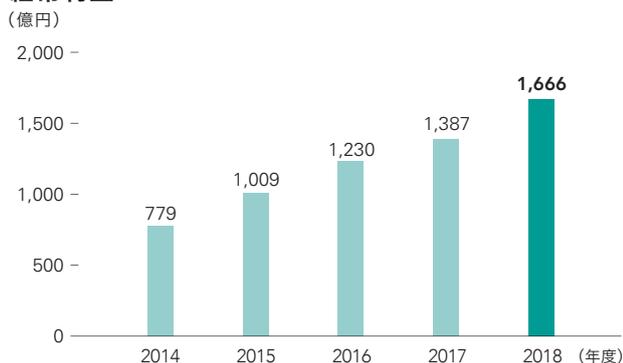
売上高



営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



ロイヤリティー収入の伸長

- 抗HIV薬のグローバルでの売上が順調に拡大したことに伴い、ロイヤリティー収入が引き続き伸長(前年度比20.3%増)
- ヴィーブ社のグローバルでの好調なHIVビジネスに基づき、配当金収入も伸長
- 抗インフルエンザウイルス薬「ゾフルーザ」のグローバル開発の進展と米国における承認取得に伴うロシュ社からのマイルストーン収入

ロイヤリティーおよびヴィーブ社からの配当金収入



ROE、ROIC、CCCの推移

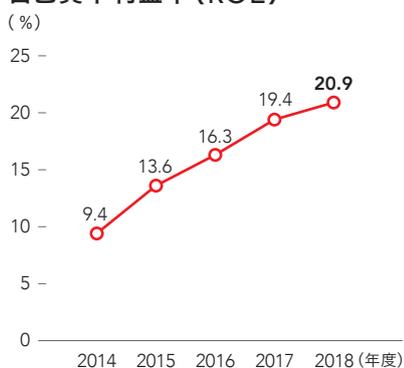
- ROE(自己資本利益率)およびROIC(投下資本利益率): 順調に進捗

⇒ 特にROEは、初めて20%台に到達

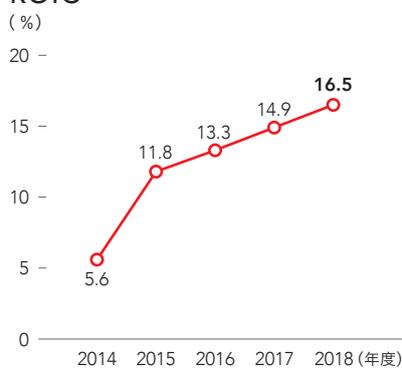
- CCC(キャッシュ・コンバージョン・サイクル): 売上債権・仕入債務の回転期間の改善や在庫の適正化に取り組み、これまで順調に推移してきたが、急速な製品構成変化に連動して変化し、8.9ヵ月(前年度比2.7ヵ月延長)に延長

⇒ 比較的原価率の低い新製品の売上比率の増加および原価率の高い「クレストール」、「イルベタン」類の売上減少に伴って原価が大幅に減少したため、棚卸資産回転月数が延長し、CCCの延長につながりました。この製品構成変化の影響を鑑み、2020年度目標を当初の5.5ヵ月から7.0ヵ月へ修正を行いました。2019年4月に設立したシオノギファーマとも連携し、グループ全体として在庫等の管理を進化させ、CCCの短縮に向けた取り組みを進めていきます。

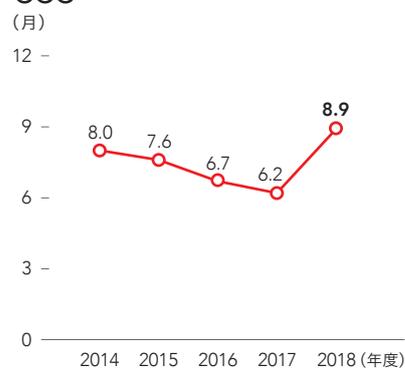
自己資本利益率(ROE)



ROIC



CCC



※ ROE(自己資本利益率): 親会社株主に帰属する当期純利益÷(株主資本+その他の包括利益累計額)×100(%)

※ ROIC(投下資本利益率): 税引後営業利益÷(有利子負債+株主資本+非支配株主持分)×100(%)

※ CCC(キャッシュ・コンバージョン・サイクル): 原材料や商品仕入等へ現金を投入してから販売を通じて最終的に現金化されるまでの日数(資金効率を見るための指標)

成長とともに実感していただける株主還元施策

- 継続的な増配
- 機動的な自己株式の取得・消却

📖 シオノギの株主還元の考え方については、P13に記載しています。

1株当たり配当金



2014年度

- ・自己株式300億円分取得

2017年度

- ・自己株式294億円分取得
- ・消却500万株

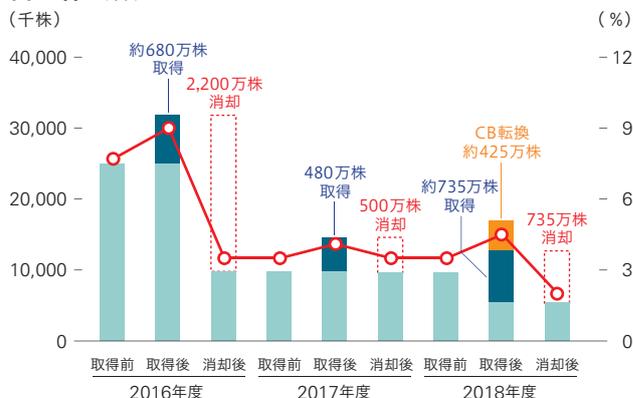
2016年度

- ・自己株式350億円分取得
- ・消却2,200万株

2018年度

- ・自己株式500億円分取得
- ・消却735万株

自己株式数



■ 自己株式数 ■ 取得株式数 □ 消却株式数 ■ CB転換
○-○ 自己株式保有比率